

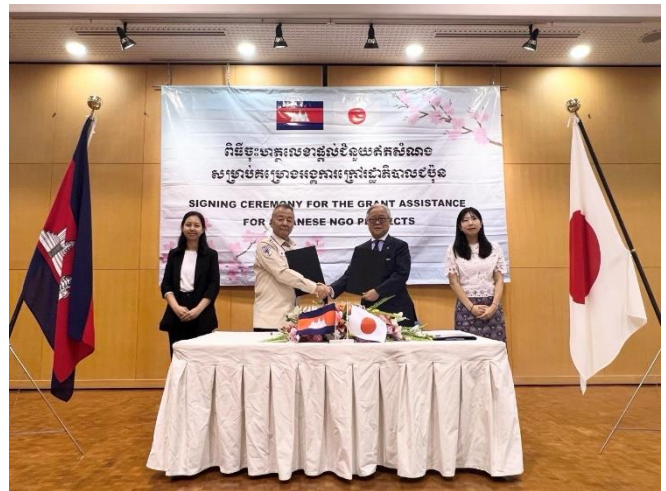
令和 7 年度日本 NGO 連携無償資金協力署名式典

認定特定非営利活動法人 日本地雷処理を支援する会(JMAS)
「スラントレン州における不発弾(クラスター子弾)処理促進・復興支援事業(フェーズⅡ)」

令和 8 年 2 月 4 日(水)、令和 7 年度日本 NGO 連携無償資金協力に係る署名式典を当館多目的ホールにて開催しました。

署名式では、植野篤志大使が、(特活)日本地雷処理を支援する会の浦野重之現地事業責任者との間で「スラントレン州における不発弾(クラスター子弾)処理促進・復興支援事業(フェーズⅡ)」(供与限度額 665,186 米ドル)についての贈与契約書に署名しました。

(特活)日本地雷処理を支援する会は、2002 年からカンボジアで地雷・不発弾の処理を開始し、2019 年からはこれらの活動と併せて地域の農業振興を進めています。「スラントレン州における不発弾(クラスター子弾)処理促進・復興支援事業(フェーズⅡ)」では、クラスター子弾の汚染地域 170 ヘクタールの安全化と支援地域における農家の知識向上及び農業技術の習得を支援します。



スピーチにおいて、植野大使は、今回の支援が対象地域の人々に直接裨益することに加え、不発弾処理人材の育成・能力強化を通じて、カンボジア国内の不発弾汚染地域の処理迅速化及び安全確保にも貢献することへの期待を述べました。

続いて(特活)日本地雷処理を支援する会の浦野重之現地事業責任者がスピーチを行い、日本国民及び政府への感謝の意を表明するとともに、着実に事業を推進していくことを約束しました。

(了)

令和 7 年度 日本 NGO 連携無償資金協力贈与契約署名式典 植野大使スピーチ

2026 年 2 月 4 日(水) 於: 日本国大使館多目的ホール

認定特定非営利活動法人 日本地雷処理を支援する会

「ストゥントレン州における不発弾(クラスター子弾)処理促進・復興支援事業(フェーズⅡ)」

- 認定特定非営利活動法人 日本地雷処理を支援する会(JMAS)
カンボジア事業理事 末安 雅之様
現地事業責任者 浦野 重之様
- 御列席の皆様

本日、令和 7 年度 日本 NGO 連携無償資金協力事業の贈与契約署名式典を開催できることをうれしく思います。

挨拶の本題に入る前に、タイとの国境紛争に一言触れたいと思います。新年を迎える前に二度目の停戦合意が成立したこと、また、18 名のカンボジア兵士が帰還したことを、日本政府としても、そして私個人としても歓迎しております。日本政府は、引き続き関係各国と協力し、緊張の一層の緩和に向けて取り組むとともに、各種の支援を継続することをお約束いたします。

日本 NGO 連携無償資金協力、通称「N 連」は、日本政府が日本の国際協力 NGO を対象に、開発途上国・地域で実施する経済社会開発事業を支援する制度として 2002 年に始まりました。カンボジアでは、2002 年から現在まで、この制度を通じて 170 のプロジェクトを支援してきており、これらのプロジェクトはいずれもカンボジア国民の生活の質の向上に直接貢献してきました。

ここで本日署名した事業について、簡単に御紹介させていただきます。

「認定特定非営利活動法人 日本地雷処理を支援する会(JMAS)」がストゥントレン州で実施する事業に対し、日本政府は約 67 万米ドルを供与いたします。

JMAS は、2002 年よりカンボジアにおいて地雷・不発弾処理支援活動を開始し、これまでにカンボジア地雷対策センター(CMAC)とともに多くの地雷・不発弾を処理してきました。長年にわたる多大な功績に、改めて深い敬意を表します。

本事業において JMAS は、スラントレン州でクラスター子弹の処理を行うとともに、住民への危険回避教育や農業支援にも取り組みます。これにより、地雷・不発弾による人的被害の減少、汚染された地域の住民の安全確保、さらには地域社会の持続可能な発展が促進されることを期待しています。また、この取組は、カンボジア政府が掲げる「クラスター子弹による汚染地域の解放」に向けた目標達成にも貢献するものです。

本事業を通じる不発弾処理に係る人材育成及び実施能力の強化により、スラントレン州に限らず、カンボジア国内の不発弾汚染地域における処理の迅速化及び安全確保に繋がることを期待しています。

近年、目覚ましい発展を遂げているカンボジアですが、地雷・不発弾対策のみならず、貧困対策、保健、教育、環境を含む社会開発など、国民の生活向上のために取り組むべき課題はまだまだ山積していると認識しております。日本政府・在カンボジア日本国大使館としては、今後も、日本の国際協力 NGO の皆様と連携し、カンボジアにおける様々な課題の解決を後押ししていきたいと考えています。

本日署名した事業が円滑に実施され、大きな成果を収めること、また、本日御出席の皆様の御健康と御多幸、さらには日カンボジア関係のますますの発展を祈念して私の挨拶とさせていただきます。

御静聴ありがとうございました。



EMBASSY OF JAPAN IN CAMBODIA

PRESS RELEASE

No. 03PR-26/EoJ

4 February 2026

Japan Provides US\$665,186 for Cluster Munition Clearance

The Government of Japan will provide US\$665,186 for the recipient organization under the framework, *the Grant Assistance for Japanese NGO Projects*. The Grant Contract was signed today between H.E. Mr. UENO Atsushi, Ambassador Extraordinary and Plenipotentiary of Japan to the Kingdom of Cambodia, and the representative of the recipient, to carry out the following project:

‘Promoting Reconstruction Support with Cluster munitions disposal in Stung Treng: PRCS’
(US\$665,186)

Recipient: Japan Mine Action Service (JMAS)

In this project, JMAS will demine 170 ha of cluster munition contaminated areas while instructing the Cambodian Mine Action Centre (CMAC) on efficient and safe cluster munition clearance methods. In addition, the project will provide not only landmine risk avoidance education for local residents but also agricultural technology and management for farmers.

The Grant Assistance for Japanese NGO Projects started in Cambodia in 2002 to support activities by Japanese NGOs to help Cambodia's reconstruction and development efforts at the grassroots level. Since 2002, the Government of Japan has provided over US\$60 million for 170 projects, mainly in the field of primary education, health, agriculture and mine clearance in Cambodia.

Embassy of Japan in Cambodia

Tel: 023-217-161

Email: eco.jpn@pp.mofa.go.jp

Website: <http://www.kh.emb-japan.go.jp>